

平成 29 年の年頭のご挨拶

国立国会図書館長
羽入 佐和子



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年春に館長に就任して初めての新年を迎え、国会議員の皆様のご理解ご支援に改めて感謝申し上げますとともに、本年も国会サービスをご利用いただき国政審議にご活用くださいますようお願い申し上げます。

情報の在り様が急速に変化し、また、国際社会が多面的に変動している現状に鑑み、国会サービスもこれまで以上に情報環境の変化や社会状況に的確に対応することが必須であり、また急務であると考えております。

国立国会図書館は、国会法及び国立国会図書館法に基づいて、国会議員の皆様の研究に資することを第一義に昭和 23 年に立法補佐機関として国会に設置されました。以来、常に秘密厳守と不偏不党を旨としてこの重要な使命を果たすよう努めてまいりました。

国会サービスの中核をなす立法調査サービスは、当館の調査及び立法考査局が担い、依頼調査と予測調査を行っております。

依頼調査は国会議員の皆様からの個別のご依頼に即して行う調査で、近年の回答数は年間約 4 万件ですが、当館の膨大な所蔵資料や各種データベース、インターネット情報等を最大限に活用して、的確な回答を可能な限り迅速にお届けするよう努めております。

予測調査は、国会の審議対象となることが予測される事項の調査・分析です。予測調査の成果は主に刊行物としてお届けしております。60 年以上の歴史のある本誌『レファレンス』（月刊）、諸外国の法令の翻訳・解説等を掲載した『外国の立法』（月刊及び季刊）、折々の政策課題の背景・論点等を簡潔に解説した『調査と情報—ISSUE BRIEF—』（不定期刊）があります。また、外部の専門家との調査プロジェクトによって、分野横断的なテーマや政策課題も扱い、報告書にまとめております。これらは冊子以外に国会向けホームページ「調査の窓」を通じてもご覧いただけます。さらに、これらの成果を直接ご説明する政策セミナーも開催しています。

その他には、衆・参両院事務局と連携して国会会議録検索システムをインターネットで提供するなど、国会発生情報を発信して、国会と国民の媒介をする機能の一翼を担っております。

社会の変化を見据え、国会の補佐機関としていっそうの信頼をいただけますように努めてまいります。本年もどうぞよろしくようお願い申し上げます。